

| No | ご意見 | 回答 |
|----|--|--|
| 1 | <p>人口減少を止める案として、「育休中の親の保育園在園中の園児に対して、育休退園をさせることをやめる。」をあげる。</p> <p>育休退園がなぜ人口減少させるのか 理由として、以下を上げる。</p> <p>①上の子が育休退園すると育休中の親は出産した児と上の子を同時に育児しなくてはならず(在園児が多い親ほど負担大、周りに頼れる親族がない場合も負担大)、産後の母親の負担が大きい。母親の負担が大きいと、産後鬱になってしまうリスクが高く、世の中話題になっているように、鬱の母親が子ども達を殺してしまうかもしれない。また母親の自殺のリスクもある(それに伴い人口減少)。鬱の診断書を提出して、保育継続すれば良いというのは危険。母親や周りが、産後鬱だと気が付かず知らずのうちに状況が悪化して手を下してしまうかもしれない。</p> <p>②育休退園すると、在園していた児が可哀想。在園児としては、急に退園となると、環境の変化に伴い心身に不調をきたすかもしれない。毎日保育園の友達と交流があったのが、なくなってしまう。もし、保育園の行事の前に退園となると、せっかく練習した遊戯等が台無しになる。保育園が好きな児ほど、ストレスがかかってしまう。母親は出産したばかりの児をどうしても優先せざる終えなく(授乳等)、退園した児に対して1日中、関わることができなく「退園のストレス+自分を優先してくれない母親へのストレス」の二重の負担がかかる。ストレスのかかった児が母親に攻撃する→母親は産後鬱の助長。①と同じように、親が子を殺める+親が自殺。(人口減少)</p> <p>③次の子を妊娠する余裕がなくなる。育休退園すると、母親に余裕が無くなり、子どもを多く産みたいと思っても躊躇する。(結果的に人口減少)</p> <p>④育休退園制度があると、町民の他の退園制度がない自治体への移動(引っ越し)が生じるかもしれない。(結果的に人口減少)</p> <p>⑤育休退園制度があると、育休復帰後に必ず元の保育園に戻れるかわからないため、結果的に職場を退職せざるおえない人がいるかも知れない。それに伴い、職場の生産性が低下し、組織が崩壊し、回り回って将来的に町全体が衰退。(結果的に人口減少)対策としては、上の子は短時間保育または、週数日でも良いので保育の継続をさせる。以上より、人口減少を止める案の一例とする。標茶町は三歳未満は保育料無料は良いことだと思っていましたが、育休退園制度があるのは、子どものことを考えていないのと、少子化対策としては甘いんじゃないかと思います。それなら、他の自治体と並んで三歳未満は所得通りに保育料の負担をさせて(そのほうがフェアである)、育休退園制度をやめると、人口減少も緩やかになり、子どもの未来ある町になるのではないかと思います。</p> | <p>標茶町過疎計画（案）にご意見をお寄せいただきありがとうございます。</p> <p>ご提案がありました「育休中の親の保育園在園中の園児に対して、育休退園をさせることをやめる。」につきまして、当町では入園を希望する子どもに対して、保育士が不足する事情により、育休を取得するご家庭については、退園いただいております。</p> <p>育休退園後の保護者の負担軽減のために、保育園退園後の子どもに対して、保育園の一時保育による日中の預かり、子育て支援センターにて子育てサロンの開設、子育てに関する電話相談の支援を行っておりますので、ご活用をいただきたいと思います。</p> <p>「対策としては、上の子は短時間保育または、週数日でも良いので保育の継続をさせる」については、令和8年度から町内の認定こども園、保育園にて、すべてのこどもの育ちを応援することを目的に「こども誰でも通園制度」を実施し、保護者の就労状況に関わらず、定められた時間内において3歳未満の未就園児を受け入れする対応を予定しておりますので、ご理解のほどお願いいたします。</p> <p>なお、標茶町過疎計画へは国で実施を進めている支援制度のため掲載しません。</p> |

※募集期間終了後の意見については作成スケジュールの関係上、反映は行えませんでした。今後の行政運営の参考にさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。